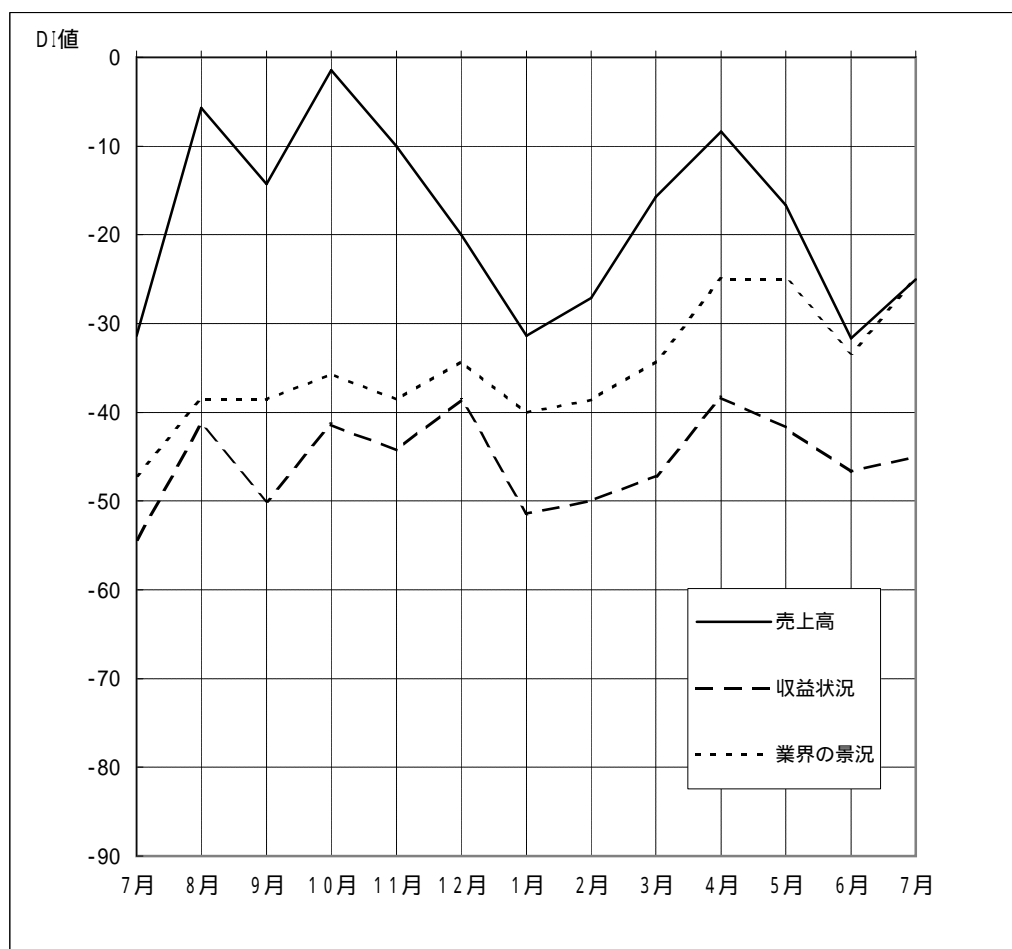


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成15年7月～平成16年7月

単位:ポイント



	h15						h16						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	-31	-5.7	-14.3	-1.4	-10.0	-20.0	-31.4	-27.1	-15.7	-8.3	-16.7	-31.7	-25.0
収益状況	-54	-41.4	-50.0	-41.4	-44.3	-38.6	-51.4	-50.0	-47.1	-38.3	-41.7	-46.7	-45.0
業界の景況	-47	-38.6	-38.6	-35.7	-38.6	-34.3	-40.0	-38.6	-34.3	-25.0	-25.0	-33.3	-25.0

7月のDI値をみると、前月より上記全科目で好転した。「売上高」は前月より6.7ポイント改善し、マイナス20%台に推移し、「収益状況」においては、小幅だが1.7ポイント改善し、マイナス40%台を継続中。「景況」は前月より8.3ポイント改善しマイナス20%台に推移した。ここ3ヶ月を通じ中小企業の概況は、一進一退の状況である。

組合の特記事項からは、全体的に製造業では、原材料高により、収益面で厳しい状態が続いているとの報告が多い。だが、「木材・木製品」、「一般機器」の一部で組合員内で受注格差が出ているが受注増とする報告もある。全体的に非製造業においては、景気の回復を実感できずにおり、厳しい景況とする報告が多い。

また7・13梅雨前線豪雨災害は、製造業・非製造業問わず被災地周辺に大きな影響を及ぼし、景気回復の期待に水を差した。